

登録コード	A3594307	開講年度	2026				
授業科目	専攻研究				担当教員	筒井 歩	
英文授業名	Thesis Research						
単位数	2	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している				有機化学・分析化学・有機合成化学・食品科学に関する専門的な知識や研究能力を修得している		
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				有機化学・分析化学・有機合成化学・食品科学に関する地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				有機化学・分析化学・有機合成化学・食品科学に関する専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。		
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				有機化学・分析化学・有機合成化学・食品科学に関する地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	専攻研究 ， ， を通して，専攻研究課題を設定し，その課題に関して実験計画を立て，実験を遂行し，専攻研究論文の作成および研究内容の発表を行います。研究課題においては，有機合成による新規化合物の合成、構造解析、機能性成分の探索，生合成経路の探索、活性評価，構造解析を主として研究を遂行します。						
(5)授業計画	各自の研究テーマを設定し，卒業研究を行う。 1．実験計画の策定（月次計画および全体計画） 2．実験手技・手法の説明 3．実験の実施 4．データ解析法の説明（1） 5．データ解析法の説明（2） 6．文献検索法の説明および実施 7．関連論文の概要まとめ 8．研究経過および参考文献内容の発表（月毎） 年度末に授業アンケートを実施する。						
(6)自主学習の指針	研究テーマに関する文献検索手法を学習し，関連する研究論文を調査できるようにする。また，各自の研究課題に関する文献を読み，その方法を理解すること。研究報告では科学的表現方法に慣れるとともに，英語論文は翻訳して理解すること。						
(7)成績評価の基準	基礎的な実験を遂行し，目的，方法，結果の解析，結果に対する考察ができていれば，「水準にある」，課題に対して資料の準備とわかりやすい発表がなされていれば「やや上にある」，与えられた課題に対して十分に調査し，発表ができ，質問に対して適切に解答できていれば「かなり上にある～卓越している」と評価します。 実験課題に関する文献を読み，その内容を資料にまとめることができれば，「水準にある」，要約の準備とわかりやすい発表がなされていれば「やや上にある」，論文の内容を理解し，説明ができ，質問に対して適切に解答できていれば「かなり上にある～卓越している」と評価します。						
(8)事前事後学習の内容	実験課題に関する教科書や文献を読み，その原理と方法を理解しておくこと。また，研究テーマに関する文献検索手法を学習し，自身の研究内容に関連する研究論文を検索する。該当論文は翻訳して理解するとともに，わかりやすく説明できるようにしておくこと。 研究報告では科学的表現方法に慣れるとともに，発表できるようにしておくこと。						
(9)テストやレポートの予定	定期的の実験の進捗状況の打合せ及び報告会を行います。その際，進捗状況がわかるパワーポイント資料またはレポートの作成を求めます。また，必要に応じて実験ノートの提出も求めます。						
(10)成績評価の方法	専攻研究への取組みを総合的に判断して評価します。 得点率による評価基準は次のとおりとする。 S：90-100，A：80-89，B：70-79，C：60-69，D：59以下						
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時受け付けます。						
(12)履修上の注意	有機化学および機器分析化学の講義を履修しておくこと。						
【教科書】	特に指定しない。						
【参考書】	各自の研究テーマに関連した資料を活用してください。						